



市史だより

第 292 号

令和 5 年 7 月 1 日

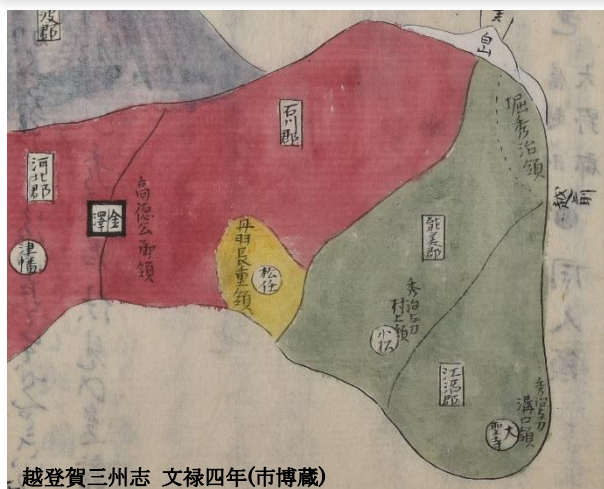
小松市史担当



新型コロナが「5類」となって1ヶ月余りが経ちましたが、最近徐々に感染者が増え始め、「第9波」の到来との声が聞かれます。そのような中、イベントや祭りが従来の形を取り戻し、実施されるようになりました。

当市の7月恒例の祭りと言えば、23日に開催される多太神社の兜祭りです。白髪を染めて戦った齊藤別当実盛を偲ぶ祭りで、この日に、身に纏った兜や袖等が一般公開されます。また、近世以降、遊行上人による実盛回向(供養)で奉納された回向札も見ることができます。境内には、芭蕉が、「奥の細道」の道中で立ち寄って詠んだ、「むざんやな 甲の下の きりぎりす」の句碑が建ち、神社はこの日、実盛一色です。往時の姿が偲ばれる一日です。

『新修 小松市史 通史編Ⅰ』見どころ



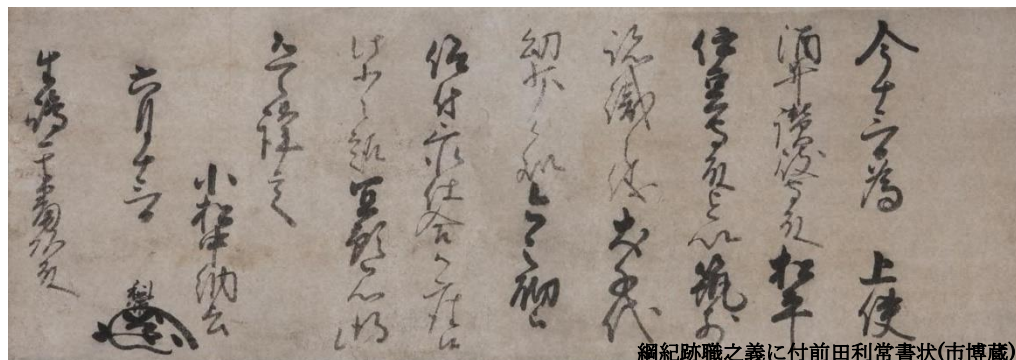
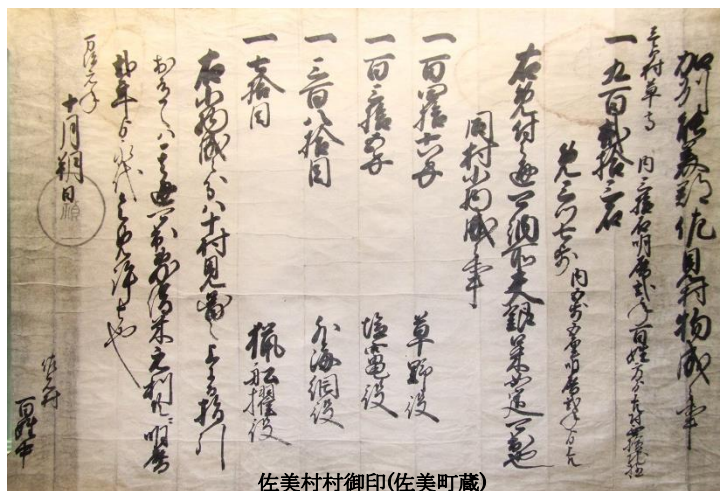
近世編を紹介する。小松の歴史の中では中心的な部分であり、その史料も豊富に残っている。それ故に、1冊ではまとめ切れず『通史編』については近世まででひと区切りとし、「Ⅰ」と「Ⅱ」に分冊することとした。

中世の最後、織田軍の勢力が南加賀にまで及んだのを受け、近世1章では、南加賀に配された織田軍の各武将(柴田・村上・丹羽/左図参照)から関ヶ原合戦後の前田家までの能美郡支配を取り上げ、各歴代領主の治世を詳述した。近世9章中、1~4章は、歴代領主とその政治を時系列で追い、政治史的な色合いが強いが、加賀藩や小松町の政治的な流れや動きが理解できる。

2章は、前田利常の政策・政治と小松城について、主に記述した。隠居という立場にありながら、近世期の加賀藩の政治の中心が、利常のいる小松に置かれ、この時に、加賀藩の特徴的な施策が次々と実現されていく。合わせてこの頃、天領である白山麓18ヶ村で争論が起き、この天領には現小松市域も含まれることから、この争論と市域の天領村を特筆した。

3章は、加賀藩の農政の代表的な施策である改作法を特筆して詳述し(写真右参照)、特に、野田村の改作法の実態を明らかにした。また、この時代、加賀藩から富山藩、大聖寺藩が三藩文治されるが、村々の整備の状況、藩域の移動についても解説した。

4章は、利常の存在が消え、その後の五代藩主(写真下参照)から藩末までの歴代藩主の施策について説明する。後の藩主と小松市域とを結び付けるのは難しかったが、全体の藩政の流れの中で小松の位置付けを試みている。



5章以降は、時代を交錯する形になるが、主題中心になる。5章は生活文化、6章は産業、7章は寺社、8章は教育・美術、9章は幕末での小松町の状況を述べる。詳細な内容は次号以降で解説する。

『新修 小松市史 通史編Ⅰ』アピール画像



『新修 小松市史 通史編Ⅰ』

仕 様：B5 版 上製本 布装丁 貼ケース入り 本文 943 頁
 価 格：5,400 円(税込) (12 月まで特別価格)
 販売所：市史担当事務局・うつのみや城南店・明文堂書店

『新修 小松市史 通史編』の箱表紙はこれまで
 発行された『資料編』18 巻の箱表紙やチラシ、
 口絵等を飾った、その巻をアピールする資料で
 構成されています。

今回は、『通史編Ⅰ』の裏表紙をご紹介します。
 皆様は、何の資料なのか、いくつお分かりになり
 ますか。挑戦してみてください。(左上から右へ紹介)

矢田野エジリ古墳出土人物埴輪 『17 考古』

古墳時代の様相を知る屈指の資料。重文指定
 津波倉神社「木造獅子頭」 『9 寺社』

在銘獅子頭では全国6番目に古い。重文指定
 竹林七賢人文木瓜形平卓 『12 美術工芸』

軟陶の技術に長けた栗生屋源右衛門の優品
 狩野探幽画「孔子(文宣王)画像」 『16 教育』

周公画像と共に集義堂(学問所)に掲げられた
 元文二年加州能美郡図籍 『13 近世村方』

江戸中期の十村組の範囲が色分けでわかる
 伝統的な町家が残る龍助町町並み 『15 建築』

高い吹き抜けのある才工など町家形式が残る
 民家検労図「田植付之図」 『13 近世村方』

犬丸村十村北村与右衛門良忠が著した農書
 芭蕉木像 『7 文芸』

立花北枝の作。芭蕉が滞在した建聖寺の所蔵
 埴田後山無常堂古墳出土四獣鏡 『17 考古』

文様を持つ古墳時代の鏡としては本市唯一

<7月のカレンダー> 開室時間 10:00~17:00(火~金)/9:00~17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5

* は市史担当の事務局は閉室しています。

小松市史担当 (小松市立図書館 2 階)

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

